

京都府 議会だより

発行/京都府議会
編集/京都府議会広報広聴会議

東山高等学校2年生
森 温貴さんに題字を
書いていただきました

No.45



京都府議会
ホームページ



Twitter



Facebook

11月定例会まとめ

約113億円の補正予算を可決

病床の確保などの第6波に
備えた医療提供体制の強化

コロナ禍での原油高騰など
に対する支援

新型コロナウイルス感染症
拡大防止推進費

府内経済の回復に向けた需要
喚起

可決された意見書

沖縄戦戦没者の遺骨等を含
む地域の土砂を埋め立てに
使用しないよう求める意見書

「職業実践専門課程」を有す
る専修学校に対する支援に
関する意見書

意見書

意見書とは・・・府民の幸福や利益になるような意見を国の
政策に反映させるために、国会または関係行政機関に提出する
文書のことです

子育て支援団体と
議員による
座談会を開催しました。



詳細は2 | 3 面へ!

1 令和4年(2022年)2月



11月定例会の
詳細はこちら



子育て支援団体と議員の

意見交換

子育て支援団体と議員の 座談会を開催

議会が府民の意見を伺い府政に生かすため、年に一度開催している座談会。今回は、2021年12月3日に京都市交流促進まちづくりプラザ（西京区）にて「子育て支援団体と議員の座談会」を開催しました。

「NPO法人京都子育てネットワーク」理事長、同法人運営の「京都市子育て支援活動いきいきセンター」施設長および、サポートする子育てサークル代表ら計5人に参加いただきました。「コロナ禍での子育てについて」「居場所づくりなど活動を通じて、子育て環境充実のために必要だと感じること」をテーマに、それぞれの活動内容や抱く思い、子育て支援に関して府政に求めることなど、貴重なお声を頂きました。



府議会からは、
広報広聴会議委員の5人が参加



尾田 真紀さん

京都市子育て支援活動
いきいきセンターつどいの
広場「ま〜ぶりんぐ」
「びおと〜ぷ」施設長

尾田

コロナ禍で、乳幼児親子が直接出会う機会が減り、子育ての不安や悩みが増すなか、孤立した子育てに陥らないよう、SNSやオンライン通話を使って情報発信や相談業務を行いました。これは苦肉の策。直接対面できる「居場所」は必須です。また昨今、社会環境が大きく変化し、子どもの育ちに影響が出ていると感じます。子どもの健やかな心身発達を促す取り組みの必要性を感じ、活動に力を入れています。

議員

気軽に相談できるのは心強いですが、オンラインでの居場所づくりも充実させようとしているんですね。不安も喜びも共有することで「ひとりじゃない」ということを感じられるでしょうし、視野が広がって子育ての原動力にもなりますね。



河原

ダウン症がある子を育てる当事者として、つどいの広場「いっぽ」の後押しを受けてサークルが立ち上がりました。「先輩お母さんの生の声を聞けて気持ちが悪くなった」という参加者の声が多く、仲間に出会えることの大きさを感じています。同じ境遇の親御さん、特にダウン症がある赤ちゃんを授かって間もない方にサークルの存在を知ってもらいたく、保健センターなど行政にはさらなる連携をお願いしたいです。



河原 友美さん

ダウン症児のママたち
による子育てサークル
「にじいろすまいる」メン
バー

代表 質問

令和3年12月6、7日に
行われた代表質問の主な内容は
次の通りです（質問順）



今後の医療体制の
拡充などについて



山口勝 公明 伏見区

質問

国の新型コロナウイルス感染症対策に基づき、本府でも一層の病床確保が望まれるが、病床を運営できる人材は確保されているのか。また、医療人材の派遣計画の策定や人材育成などの考えはどうか。

答弁

病床運営に必要な人材と合わせて病床を確保している。臨時医療施設は、医師などの派遣計画を策定し、人材を確保していく。また、ECMOなどの操作研修や潜在看護師の現場トレーニングにより人材を育成していく。



新型コロナウイルス
の接種について



池田正義 自民 舞鶴市

質問

感染症の感染拡大を防止し、重症化を予防するためには、3回目接種を円滑に進めることが重要。市町村へのワクチン配分調整を含め、3回目接種を円滑に進めていく上で本府が果たす役割はどうか。

答弁

ワクチンの必要量を確保し、市町村に適切に配分するとともに、医療従事者の派遣、職域接種の実施に向けた働き掛け、集団接種会場の設置などにより、接種機会を広域的に確保してまいります。



北山エリア整備
基本計画について



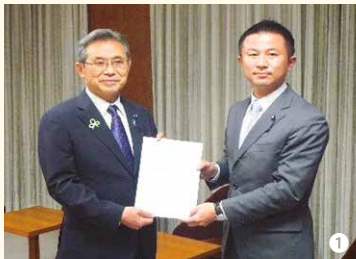
光永敦彦 共産 左京区

質問

府民や学生に植物園などの再整備について説明や対話をしていないが、大学内に

「子育て環境の充実に関する特別委員会」を設置

京都府議会では、「子育て環境の充実に関する特別委員会」を設置。出会いから結婚・妊娠・出産・保育・教育及び就労に至るまでの子育ての環境を充実するためにどのような施策が必要かについて調査し、研究しています。



①



②



③

①昨年5月、「政策提案・提言」を取りまとめ、中島委員長から田中議長に報告(肩書は当時のもの)
②、③昨年11月に行った管内調査の様子

宮川

私は、親や本人も含めた口唇口蓋裂の当事者同士が気軽に交流できる居場所づくりに携わっています。特に、妊娠中から産後の保護者の皆さんが子育ての未来予想図が描けるような「循環型の子育て支援」を目指しています。メンタルケアはなるべく早い時期からの丁寧な寄り添いが必要です。支援が必要な方々に早い段階でつながるために、医療や行政機関の赤ちゃん訪問など、「つどいの広場」とも連携して私たちの活動をご紹介します。ただけると助かります。



宮川 みち代さん

口唇口蓋裂のお友だち交流in京都「ひだまり」/「おおきな木のおうちぼかぼか」主宰

議員 お2人とも、それぞれのお母さんとして支援される側から支援する側になったですね。保健センターと広場の連携の現在の状況について、教えていただけますでしょうか。

藤本

支援には、支援者自身の専門性が重要です。子育て支援研修の枠組みを京都府オリジナルで一緒に考えていただけたらありがたいです。温かく居心地のいい雰囲気の中で子育てを頑張ろうと思える居場所づくりに努めていきますので、皆さんが「子育て環境日本一」と思えるような政策をしていただけたらと思います。



藤本 明美さん

「NPO法人京都子育てネットワーク」理事長

議員

今回皆さんから貴重なご意見を頂戴し、保護者同士のつながり、団体の皆さんと行政のつながりがいかに大切であるかを感じました。「子育て環境日本一」を目指すためには、誰一人取り残さないことが大切です。そのための政策についてしっかりと提案してまいります。

金高

保健センターとは事業を共催するなど連携も取れています。一方で、コロナ禍で保健センターから0〜3歳の親子へ必要な情報が届かなくなっています。保育園や幼稚園に行くまでの居場所として「つどいの広場」があることを知り、足を運んでもらえるよう、西京区にある5カ所の広場の合同チラシを作成しました。子育ての居場所づくりを、行政と協力しながら進めています。



金高 ひろみさん

京都市子育て支援活動いきいきセンター つどいの広場「いっぽ」施設長

アリーナを造ってほしい」などの要望はどこからあったか。説明会では大半が反対意見であったが、受け止めはどうか。

答弁

計画内容は、検討過程での有識者やパブリックコメントなどの意見を盛り込んだものである。説明会では、この地域への関心の高さを認識したところであり、多くの方のご理解をいただきながら、検討を進めたい。



災害時のペット対策について

前波 健史 自民 伏見区

質問

コロナ禍で、自宅を過ごす時間が増えたことなどから、ペットを飼う人が増えている。災害時に、ペットとの同行避難を円滑に行うには、行政の取り組みだけでなく飼い主への啓発も必要と考えるがどうか。

答弁

府内全避難所1,652カ所中、654カ所で同行避難が可能。ペットを連れた避難者と周りの方とのトラブルを避けるため、ペットとの同行避難訓練や災害対策講座などにより災害時に備えた啓発を行っている。



胸を張って引き継げる温暖化対策について

梶原 英樹 府民 山科区

質問

本府は国に先駆けて「2050年温室効果ガス排出量実質ゼロ」を宣言しているが、旧温暖化対策計画の2020年度の目標達成は厳しい状況であり、現状の課題と排出量削減の未達成成分を取り戻す方策について伺いたい。

答弁

世帯数や世帯当たりの家電製品が増加している家庭部門、大規模店舗数が増加している業務部門で削減が進んでいない状況。省エネの加速化、荒廃農地や駐車場を利用した再エネの導入などに取り組んでいく。

古林良崇 自民 京田辺市・綴喜郡

▼京都府のジビエ消費拡大施策について

▼綴喜地域の社会インフラ整備について

酒井常雄 府民 城陽市

▼地域創生と移住促進について

林正樹 公明 山科区

▼大規模災害発生時の廃棄物対策について

▼電子図書館・電子書籍貸出サービスの導入について

馬場紘平 共産 伏見区

▼コロナ禍での商店街振興対策について

▼ギグワーカーでなく正規雇用労働者の拡大と最低賃金の引上げについて

森口亨 自民 京丹後市

▼移住促進による地域づくりについて

▼大学入学共通テストにおける丹後通学圏の高校生の現状について

西山頌秀 共産 伏見区

▼中学校卒業まで子どもの医療費無料化を拡充することについて

▼タブレット端末導入について

北川剛司 府民 京田辺市・綴喜郡

▼山城地域の発展と道路整備について

▼ICTを用いた教育の在り方とネットいじめ対策について

石田宗久 自民 左京区

▼新しい資本主義と京都経済について

▼林業振興と森林保全の課題について

青木義照 自民 中京区

▼京都府における温暖化防止対策の取組について

▼府民生活を支える社会資本であるインフラの安全性について

成宮真理子 共産 西京区

▼9条改憲、敵基地攻撃能力保有等自衛隊と米軍との一体化の動きについて

▼府立文化芸術会館の存続・発展、子どもたちの文化芸術の鑑賞・創造機会の保障について

田中健志 府民 中京区

▼コロナ禍の避難所対策について

▼学校現場での子どもたちの命を守る取組について

中島武文 自民 宮津市・与謝郡

▼丹後地域の振興について

▼主要地方道宮津養父線岩屋峠の改良促進について

田島祥充 自民 八幡市

▼子どもを虐待から守る条例の制定と施策の展開について

▼新型コロナウイルス患者の療養体制について

その他の項目は府議会HPをご覧ください



代表質問



感染症に対応する体制の強化について

園崎弘道 自民 城陽市



質問
担当職員の疲労による業務効率の低下を招かないためにも、コロナ対策に当たる部分を細分化するとともに、必要な増員を行い、コロナ対策専門型の機能集約拠点を設けるべきと考えますがどうか。

答弁

知事を本部長に全庁体制により対策を実施。さらに迅速な意思決定につなげるため、司令塔の役割を持つ体制が必要とも考えており、これまでの対応を検証した上で、次の備えとして求められる体制を検討したい。

Information

2月定例会の日程（予定）

会期 2月4日（金）～3月15日（火）

開会

2月4日（金）

代表質問（KBS京都で生中継）

2月9日（水）、10日（木）

一般質問

2月14日（月）、15日（火）、16日（水）

予算特別委員会

2月16日（水）～3月14日（月）

常任委員会

3月8日（火）、9日（水）、10日（木）

特別委員会

3月11日（金） 閉会 3月15日（火）

※議会の様子はインターネット中継でご覧いただけます

